

第2分科会 全体会協議事項

1 議会の役割

議会と議員の役割について説明（別紙資料参照）

法令等に規定される議会の構成や運営に関する議会の活動原則を再確認すべきか。

議会の政策立案や提案、市民の参加・協働等に関する規定は是非盛込むべきである。（市民のための議会）

地方自治法 第2編第6章（第89条～第138条）

議会の権能、組織、権能、議決権、意見表明権、監視権、調査権、議案の発案権、議会の規律等

【岸和田市自治基本条例】

第3章 市議会

（議会の権能）

第8条 議会は、地方自治法（昭和22年法律第67号）の定めるところにより、条例の制定改廃、予算の決定、決算の認定等を議決するほか、市政に関する事項で別に法令及び条例で定められた事項について議決する。

2 議会は、市民の意思が市政に反映され、適正に市政運営が行われているかを監視し、けん制する権能を果たさなければならない。

（議会の責務）

第9条 議会は、会議を公開するとともに、議会の保有する情報を市民と共有し、開かれた議会運営に努める。

2 議会は、自らの権能と責務に関する基本的な条例を定め、市民に対し、議会の役割を明確にするよう努める。

- ・ 決めるのは議会が同意するかしないかであるから、議会の側に市の政策水準の向上に対する一歩踏み込んで行動するような思いをもってもらわなくては
- ・ 議会の部分については、議会でも考えてもらうという方法もあるのではないか。市民としての意見や希望を伝えて、議会でも検討してくれないかという投げかけもあるのではないか。我々が偉そうにあれこれ言っても、言葉遊びのように実効性なくなっては意味がない。
- ・ いわゆるチェックアンドバランスで、市長と議会とでお互いに良い点悪い点を監視しながら良い町になっていくということが必要

- ・ 自治基本条例で議会のことを具体的に盛り込むことは難しいので、議会基本条例を条例としてきっちり策定する必要があるのではないか。その基礎となる理念の部分では、自治と市民とのかかわりで議員というものはどういうもので、議会というものはどういうものという規定を自治基本条例に盛り込まなくてはいけない
- ・ 我々が箸の上げ下ろしまで全部、あれこれしなさいと条例案の中に盛り込むということは余りにも煩雑であると同時に、ある程度は議会の皆様方の良識と判断にお任せする、そういう条例文にして送り出す方法でもいいと思う。

- ・ 伊賀市の表現を借りれば「市の政策水準の向上」が議会には必要。単なる決議だけすれば良いというものではない。また、なんと言っても「長期的展望」が大切。
- ・ 全体として目指すべきものは何なのか、市全体をどうやって発展させていくのか、これはいつでも確認しあって忘れてはいけない
- ・ 議員さんが自分の背中に何を背負っているのかという意識を常にどれだけ感じてもらえるのかが非常に大事
- ・ 情報公開や情報提供も議会・議員の責務のひとつ
- ・ もっと市民にも市政や議会に関心を持ってもらわないと、なんとなく好ましいで投票されたのでは困る。
- ・ 議会に関して詳しい部分まで細かく委員会で創りあげていくのは難しく、市民側として基本的にこれだけは押さえて欲しいという部分を入れて、中に議会条例を制定するものとするという文言を入れておくことはできないか
- ・ 執行部側と議会側が戦っているわけではないですから、本来であれば戦わないでより良い方向に持っていかなければいけない
- ・ 議会は何をしているのかということに関しては議会だよりも公式には出ているのですが、もう少し情報が欲しい
- ・ 情報公開といえば会議は公開されています。ただ、市民が行かないだけで。議会傍聴も市民の責任とまではいえませんが、時には行ってほしい。
- ・ 公開のチャンスがえられるということ、市民一人ひとりにどうやってPRするか。そこが出発点ではないか。
- ・ 市民を啓蒙することも必要。市民の責務としてやれよという前に関心を持たせるというアクションがいくつもあって初めて関心が出てくるのであって、市民は議会の傍聴に行きましょうと書いても何の効果もない。
- ・ 市民の努力義務は目指す点としてあるとしても、そのために議会はどれだけ分かりやすく情報の収集共有を果たせるか。単に議会を公開するというだけではなくして、もっと知ってもらうことや、市民に入って行って説明するといったような、そういう気持ちを持っていなければいけない

- 例えば反問権にしる、一問一答式にしるやってもらうことで市民は面白くなる。面白ければ見ると思う
- 議会を面白くする・分かりやすくする責務というのは盛り込めないのでしょうか。
- 条例で地域力を高めるためにみんなが努力してがんばる、それを条例で示すのは賛成だが、マイナスの方向に変な条例を作るのであれば、それはナンセンス。
- 議員さんが、そこできちんと議論できる、される議会であることが大事。そこで議論していただいてお互いが成長していただき、その違いを住民がちゃんとわかって、理解できる場が提供できる機会があればいい
- 議会も行政も結果だけでなく、どういう経過で結論に至ったのかを明確に市民に示して欲しい。
- 開かれた議会、市民の参加する機会、分かりやすい議会。
- 市民のモチベーションやこれからのまちづくりへの積極性を引き上げていくのも議会の責任。いわゆるリーダーですから。
- 議会からの情報をうまく活用しながら市民を活かす。議員が情報を収集しながら、バランス良い判断ができるような自己研鑽を図ることが大切
- まさに議会こそ自治を担っている。それをもっと自覚して欲しい。
- 議会の効率的な運営や反問権のこともそうですが、やはり分かりやすすくないと傍聴に行きたいと思わない。議会がもっと面白くなければ（市民の興味を引くものでなければ）ということもある。
- 今後議会がどうあるべきか等を、議会としても全員協議して、行政に対して、議会としてはこう思うけれど行政側としてはどうなのかという質問の仕方、もっとやり取りがあってもいい
- みんながわくわくするとか、やる気が出るかそういうまちを作るための議会であって欲しい

2 議員の役割

議員のあるべき姿と心がけるべきことを盛り込む必要がある。

【岸和田市自治基本条例】

(議員の責務)

第 10条 議員は、議会活動に関する情報、市政の状況等について、市民に対して説明するよう努める。

2 議員は、市政調査、議案提出等の権能を積極的に活用するよう努める。

3 議員は、市民福祉の向上のため、第 8 条に規定する議会の権能を踏まえ、前条に規定する議会の責務及び前 2 項に規定する議員の責務を果たすよう努める。

- ・ 議員は今までは地域を代表する役割があった。自治会、商工振興会などが支援団体としてなる場合が多い。
- ・ 議員さんが自分の背中に何を背負っているのかという意識を常にどれだけ感じておられるのかが非常に大事
- ・ 30年・50年後この地域が、他の地域に対する力関係に耐えられる地域であるよう望むなら、議員一人一人の言葉も行動も大変な責任が重いものだと思う。
- ・ 議会に議員に大きな期待をしたときに地域の議員数のアンバランスをどうやってしのぐかが課題
- ・ 議員が地域の課題について考え、先を見据えて行動していかなければ、大変なことになってしまう
- ・ 地元の反対を覆すのではなく、地元の住民に必要性を認識させたりするそういう気遣いを、やれるかやれないか。ただ理論武装をするのではなく、市と連携をするなどしながら住民の理解を進め、意識を高めていかないといけない
- ・ 地縁の問題も大切だが、そうはいつでも全上田市を代表するという崇高な思いで活動するのが議員として当たり前
- ・ 議員さん・議会の責任というのはものすごく大きいもので重い責任を担っている。投票する側だと、簡単にそこまで深く考えず投票している
- ・ 議員さんは本来はいろんなことを市民に説明していく必要がある。それが大事なことで、市民も改めて認識して、だから一緒にやっというよという、ものにしたい。
- ・ 情報公開や情報提供も議会・議員の責務のひとつ
- ・ 一人ひとりの議員さんたちが、いかに市民に伝えていくということも大事
- ・ 若い世代には地縁を重視しない人が多いように思いますが、一番身近な住民の声は良い意味でそこから出た議員は聞きやすいし、その地域の問題に対して議員が自分

自身で真剣になれるということは自然な姿であり、地縁も大切。

- ・ 議員に付与されている権限はフルに活用すべきであって、それはスタンスとして大事
- ・ 議員の資質を高め品位を正すことが一番大切。
- ・ 長は政策を考える（補助職員を含めて）議会はそれを判断するところで、地縁等を背負って、人気で判断していく（無能＝住民と同じ感覚で政策を判断する）ということではないか。
- ・ 議員さんは本来当然に高い倫理観を求められるもので、本人も自覚しているはずであるから、倫理について法律を作って規制しなければ守られないような、そのようなものではない。人として最小限の自覚。それを文章にするとするのは変なものだ。
- ・ 市民の代表というのは誰に聞いてもわかるけれど、市民の意見を代表して物を言ってくれる人なのか、市民の代表となるあなたに、あなたの意見を堂々と述べていただきたいということで選ばれている方なのか、そこがまず一致できていないと求めるものが違ってくる。
- ・ 議員さんの選出母体からの代表性が薄れると、住民の意見をいつも反映しあえる、吸収しあえるようなコミュニケーションがなくなってしまう。
- ・ 一番身近な選挙で選ばれるから、当然、地縁あるいは地域を代表する。しかし、上田市全体として上田市民の代表としても、議員として上田市にとってプラスなのかマイナスなのか、ものさしを持ってきているかどうか、議員になる人の最低条件ではないか。
- ・ 市全体のことも考え、多少自分には不利であっても、全体のために、協力するところは協力していただくなど、メリハリがないと、本当の意味での議員さんではないと感じる。
- ・ 地元地域のことを考えつつも、上田市全体として考えた場合どうなのか。そのバランス感覚をしっかり持った人が、どう考えどう行動を取るかという部分が大切
- ・ 地縁は、大事だと思うけれど、市としてどうかというバランス感覚があり、どんな考えを持つかが議員さんとしては重要
- ・ 選ぶ側が議員さんを作ってきたわけだから、選ぶ側のことも、何かここにもっと表現したい
- ・ 忘れてはいけないのは、上田市民の代表だということ。上田市を良くするために我々は働かなければいけないという、ニュアンスのことはやはり入れないといけない。
- ・ 地縁と全体どちらかというのではなく、二段に構えていかないとだめ
- ・ 議員の資質が、上田市全体の部分に熱くなれる人がいてくれなければ困る
- ・ 自分たちの意見を言ってくれるのが一番いい議員と思っているが、自分たちの意見が通らない場合もある。地元の要望がかなえられなかったとしても、納得できるよ

うな説明ももらえれば、議員として十分のように思う。

- ・ 利益調整を図れることが議員の資質ではないか。
- ・ 自分が背負っている地域と 16 万全体も背負っている。その部分がちゃんと自分の中に整理されていないと地域エゴになってしまう
- ・ 難しいことを知らなくてもいいけれども、自己研鑽して色々勉強し、市民の声も聞き、公平なジャッジができる人間を目指すのが議員だとおもう
- ・ 堂々と市民の代表として振舞える。将来も未来も語れるというのが、それは議員の持つ一番の魅力や力であると思う。
- ・ 議員の資質として、人気も 1 つかもしれないけれど、物に興味を持ち、関心を持つという意欲は絶対必要。
- ・ 市の議員が政策秘書を抱えるようにでもなれば別だけれど、一人の能力だけではらつきがある。誰が負担するかはともかくとして、議員として相談相手が確立してくれば、反問権や政策提案ができるかもしれない。
- ・ 市民とのコミュニケーションが議員さんには少ないと感じる。そこを意欲的にやらないと自分の存在が危ないという、危機感を感じさせるような、市民の側の啓蒙も大事。それを公的に支援する仕組みを考えてもいいのではないか
- ・ 議員さんが個人的に議員報告会を開かなければいけないという表現はできないか。
- ・ 報告する場があれば、議員さんも背筋を正して、必死にやると思う。やはり、緊張感が必要
- ・ 選挙の際、議員候補に対して統一的な質問状を作って、議会事務局に流すとか、そうしたことはできないか。
- ・ 今は情報を出して市民に関心を持ってもらうというアプローチと、市民の中で一生懸命混じって情報を集める、市民の思いをしっかりと把握しておく義務はある。それと、上田市の将来とフィルターをかけながら、自分はどういう判断したらいいのかというのを、決める。そのベースとなる市民の意見をまったく聴かないで自分だけで判断するという議員さんであってはいけないとおもう。
- ・ 議会からの情報をうまく活用しながら市民を活かす。議員が情報を収集しながら、バランス良い判断ができるような自己研鑽を図ることが大切
- ・ 自分の住んでいる町をどういう形で、自分たちは将来住み続けていくのかというビジョンが何処かで議論しないと、本当に自分たちの生活環境が守れない。それが市民力ではないか
- ・ 公開質問状もそうだけれど、委員も立候補者も双方が意識を高めなければならない必要がある。
- ・ 一般質問の中で、提案があってもいいのではないか
- ・ 政策立案が議員さんのこれからの生命線になるのではないか。これができない議員さんというのは正しく市民の意見を反映することもできないし、結局自分を持てなければ判断すらできないのではないか。課題について、理由がこうだから賛成であ

る、反対であると意見が言える議員さんであって欲しいというのがひとつと、それを常に市民に向かって表明できる機会を何かしらの形で受けて欲しい。

- ・ 議員が自分の立場を認識させる場は日常にある。日常から議員の立場を認識できる環境も大切。市民の関心を高めることが議員の意識を高めることにもなる
- ・ 今はともかく、我々の目指すことを明らかにして、これから目指すものだけは高く掲げておかなければいけない。
- ・ 議員にはみなに頼られる存在であって欲しいし、そこだけは失ってはいけない。それらに皆さんがもう一步踏み出して関心を持ってくれるといい。
- ・ 市民が監視をしなければ、議員さんたちもより良い政治ができないとは思っているけれど、では自分に何ができるのかというところで、悩んでいる。普通の人の生活だと、おかしいと思っても議員さんに伝える手段が簡単にはないし、チャンスがまわらない。
- ・ まずは議員さんの考えを知ることができる場を作ってほしい。そこで意見を聞いてもらいたい人がいたら、民意をくみ上げられる。コミュニケーションをとってもらうことが距離を縮めるには一番いい。
- ・ 議員さんが個人の心からおきてくる正義を議員活動で貫くのか、自分は市民の代表であり、市民の意図をどう実現するかのためにここにいると考えて行動するかで全然違ってくる。果たして議員とは何をするのかを規定していくのが今回の動きではないか
- ・ 議員はビジョンとイデオロギー、情熱がなければだめだ。それは賛否両論、当然あるとは思うけれど。
- ・ 楽しくてわくわくすることを伝えてもらう場所がない。聞くこともしないので悪いけれど。議員さんとは距離感がとてもある感じがする。
- ・ 自分の周りのことに議員さんも関心を持たなければだめ。それと全体との整合性を常に図っていくことだと思う。議員はえげつないくらいに自分の地元を意識しなければいけないと思う。
- ・ 全体的なことを考えた上で、自分で判断するのが議員だと思う。
- ・ 地域も変革している時代に、全部加味して対応していくような形にするにはどうして行ったらいいかと考えれば、エリアとか業種とか関係なくまとめられる何かがないといけない。議員さんの将来的に目指すのはここだと思う。
- ・ 議員は地域の市長ではない
- ・ 議員さんが、我々は地域住民の代表ではあるけれども、上田市を良くするために仕事をさせていただきますというイメージがないと、結局は内輪での足の引っ張り合いで、気づいてみたら上田市は寂れてしまったということになりかねない。